

お客さま 各位

釧路信用金庫

令和 4 年度地域密着型金融の取組状況について

令和 4 年度地域密着型金融の取組状況について以下のとおりご報告いたします。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業期・新規事業展開期における支援

- ◎新規創業支援について、全店での取扱は 72 件、715 百万円の実績となりました。
- ◎新事業展開時における各種補助事業等の申請支援や、公的機関の支援コーディネートにも積極的に取り組んでおります。

(2) 成長期における支援

- ◎成長期における支援について、ビジネスマッチングを中心に以下の取組みを行いました。
- ①ビジネスマッチングイベント「卸売りキャラバン隊商談会」に参加しました。釧路と根室管内の食品事業者が参加し、百貨店バイヤーや商社と商談に臨んだ他、専門家から商品策定のアドバイスを受けました。
- ②商工組合中央金庫との協働連携事業の一環として「ひがし北海道地区生産者 販路開拓ビジネスマッチング商談会」を鶴居村・標茶町・弟子屈および十勝地区の事業者を対象とした、リアル面談とWEB面談をミックスしたハイブリッド方式にて共同開催いたしました。バイヤーとして、産経新聞社、株式会社リリアブル、株式会社丹葉商会の 3 社を招聘し、地元生産者と直接面談する機会を提供しました。
- ③当金庫と商工会議所、釧路市の 3 者連携事業「販路拡大・磨き上げ研究会」個別商談会が開催されました。本商談会では、株式会社食文化や京阪百貨店など複数のバイヤーを招き、道東地区の食産品をアピールすることができました。
- ④公益財団法人北海道中小企業総合支援センターの支援による「販路拡大・ビジネスマッチング商談会」をハイブリッド方式にて実施しました。本イベントは昨年引き続き実施したもので、販路拡大に努力している取引先が商品をアピールし、商品のブラッシュアップのアドバイスを受けました。

(3) 経営改善期における支援・事業再生期における支援

- ◎営業店と企業支援グループが連携した企業支援活動
営業店や審査部に設置されている企業支援グループが中心となり改善計画の進捗状況の管理や経営指導・アドバイス等を行いました。

◎認定支援機関との連携

経営改善支援の実効性向上を図るため、認定支援機関との連携により経営改善計画策定支援事業の活用に取り組めました。

(4) 事業承継期における支援

一般社団法人しんきん支援ネットワーク（旧名称：一般社団法人しんきん事業承継ネットワーク）との連携により、事業承継個別相談会を開催し、経営者の皆さまの相談に対応いたしました。また、新たに信金キャピタル株式会社と連携することで、支援の幅が広がりました。

(5) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けているお客さま支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けているお客さまに対し、金庫一丸となって各種支援を実施しました。具体的には企業支援プロジェクトチームと営業店が連携し、事業再構築補助金の申請支援を実施した他、「事業継続緊急支援金」の周知および申請支援に積極的に取り組めました。

2 地域の面的再生への積極的な参画

(1) 地域全体の活性化、同時的・一体的な「面」的再生への取組

全国信用金庫協会が実施している第 25 回信用金庫社会貢献賞の「地域活性化しんきん運動・優秀賞」に当金庫の「アイヌ文化のブランド化による地域活性化」が受賞いたしました。

本事業では、阿寒湖畔地区において地域の独自性であるアイヌ文化を生かした地域活性化事業に取り組むため、阿寒観光協会まちづくり推進機構、釧路市、工芸作家が営む土産品店などで構成されるプロジェクトチームを立ち上げ、セレクトショップ大手「BEAMS」をパートナー企業として選定し、アイヌ文化や歴史を調査し新商品の企画・開発に関与いたしました。

この取組みは、地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組み事例」地方創生担当大臣表彰も受賞し、「阿寒湖畔地区におけるアイヌ文化」の知名度の向上にもつながりました。今後もBEAMSでの販売は継続予定となっており、引き続き地域活性化に向けた取組みを継続してまいります。

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

地域の活性化に向け、以下の取組みを推進しました。

◎お取引先に対して各種補助事業などの情報提供及び支援を行いました。

◎釧路しんきん地域貢献表彰制度において、「地域貢献奨励賞」、「地域のブランド化推進奨励賞」、「学生調査研究奨励賞」として、以下の方々を表彰しました。

【地域貢献奨励賞】

釧路子育てネットワーク H a p o r t（代表 伊藤 美也子氏）

2017年よりブログにて情報発信を開始。孤独な子育て“孤育て（こそだて）”に悩む母親同士の居場所づくり・つながりの場を提供するとともに、各種 SNS 発信、おさがり交換会等のイベントを実施することで、転勤者の多い釧路にて（自身も転勤族の母親という立場から）子育て支援活動を行っている。“孤独な子育て”という課題解決に社会的要請の強いテーマに果敢に取り組む姿勢、現在のママさん世代（＝SNS 世代）から絶大な支持を集めている点が高く評価され受賞となりました。

阿寒の森 間伐材アート展実行委員会（代表 岡田 実氏）

阿寒湖温泉は国立公園に属するため、長年そこから出る木材の活用は難しい状況にあったものの、数年前から森林保全活動を行う前田一步園財団より【間伐材】の提供を受けることができたことで、それを用いて作品を創作・発表、地元阿寒湖の木彫り作家を主体に地元産業の活性化を目指している。本来は木彫り作品に決して向いているとは言えない【間伐材】を使用して作品を制作・発表しているというその独自性、及び“SDG s”的側面が高い活動とその意義が高く評価され受賞となりました。

いちりんネットワーク（代表 松田 恵美子氏）

コアかがやきにて地域食堂を開催し、地産地消のみならず全国各地の名産品を加えた独自の献立を中心に、安価で健康的な食事を不定期に提供している。それとともに、【一輪車】による体幹トレーニング教室も併せて開催し、食と運動の2つの側面から健康維持と地域交流の場所を提供した活動を行っている。長年にわたり地域・子ども食堂を地道に開催しており、一輪車を用いたユニークな地元住民の健康づくり・コミュニケーションづくりに貢献した活動を、地域の中心となって実施している実績等が評価され受賞となりました。

【地域のブランド化推進奨励賞】

一般社団法人 世界三大夕日の街・釧路夕焼け倶楽部（代表理事 芳賀 久典氏）

【世界三大夕日の街】を世界にPRするとともに、釧路市民に地域の魅力として再発見してもらうことを目的として活動している。ライブ・動画配信、フォトコンテストの開催、夕日観光マップの制作等、バラエティに富む活動を行っており、【釧路の夕焼け】という観光ブランドの確立に、長年に亘り熱心に尽力しているその活動実績が評価され受賞となりました。

【学生調査研究奨励賞】

釧路短期大学 フードデザインゼミ（代表 前野 未来氏）

地産地消のサンドイッチで地域活性化（クシロノサンド）

季節ごとの不調（五月病など）を栄養面から研究し、その不足分を補う栄養素に配慮した当地食材を使用する“サンドイッチレシピ”の考案を行い、地産地消をテーマとした独自研究。地域・郷土性にあふれた地元食材をふんだんに使用し、また独自の視点を加味したその研究内容は起承転結が明確であり、また独自性も認められることが評価され受賞となりました。

釧路工業高等専門学校 大前研究室 堀内そら氏

レーザーラマン散乱を活用した魚類の栄養成分の分布測定

レーザーラマン散乱分光法（分子の振動を光学的手法で取得し、物質を特定する方法）を用いて、釧路を代表するホッケを対象に全身の栄養素の分布を測定し画像化する。専門知識がなくても魚のどの部位にどのような栄養素が存在しているか、物質を破壊することなく分かるようにする研究。レーザーラマン分光を【食材】で用いるというユニークな側面や、釧路を代表するホッケを題材とするというオリジナリティ・地域色ある研究が評価され受賞となりました。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

- ◎ 「金融教育講座」の実施
- ◎ ディスクロージャー誌、PR誌による積極的な情報発信
平成5年より「ディスクロージャー誌」を発行し、当金庫の業務や職員の紹介、地域情報などを発信しています。
- ◎ ホームページによるタイムリーな情報発信
商品情報やセミナーの開催情報など、様々な情報をわかりやすく発信しています。

以 上